

7. 故障と対策

① エンジン（エンジン取説もお読みください）

A エンジンが始動しないとき

原因	処置
* 始動の手順が間違っている。	→ 正しい順序で始動する。
* タンクにガソリンを入れたまま1ヶ月以上保管しガソリンが劣化した。	→ タンク・キャブレター内の劣化したガソリンを排出し、新しいガソリンを入れる。
* フューエルフィルターが目詰まりしている。	→ フューエルフィルターを外してエレメントを清掃する。 または新しい物と交換する。 キャブレター内のガソリンを排出する。
* チョークを引いた（閉じた）状態で始動ローブを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	→ チョークを戻し（開き）始動ローブを引くか、点火プラグを外して乾燥させる。
* エンジン停止後、燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり、車両で運搬したためキャブレターがオーバーフローした。	→ クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。
* エアークリーナーエレメントが目詰まりしている。	→ エレメントを外して清掃する。 または新しい物と交換する。
* 点火プラグの火花が弱い、飛ばない。	→ 点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。または、新しい物と交換する。
* 燃料タンクに水が混じっている	→ タンク、コック、キャブレターの掃除。

B エンジンの回転が上がらない、不安定、出力が不足するとき

原因	処置
* エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じる）まま運転している。	→ チョークを戻す（開く）。

② 本機

A シリンダーが動かない。又は力が弱い、動きが遅い。

原因	処置
* 油圧オイルが少ない。	→ 適量入れる。
* 油圧ポンプとエンジンの間のカップリングが破損している。	→ 交換。
* 油圧ポンプ・コントロールバルブの故障。	→ 修理又は交換。
* シリンダ内の油モレ。	→ 交換。
* エンジンの回転が遅い。	→ 調整又は修理。
* 油圧回路内に空気混入。	→ 油圧オイル量の点検。

B 油モレ

原因	処置
* 接合部より油モレ。	→ 増締めする。
* パーツより油モレ。	→ 修理又は交換。
* オイル注入キャップより油モレ。	→ オイルの入れすぎの為、少し抜く。 本機を水平な場所に設置する。